

第2章 【目指す子供の姿を五者で共有】実践例

地域行事への参加を通して育てたい資質・能力を育成する取組 ～宇城市立小川小学校～

学校・家庭・地域で育てたい資質・能力を共有し、生活科及び総合的な学習の時間の学び発信の場として、地域行事である「小川初市」に各学年が参加する取組を行っている。



P T A総会や教育懇話会(熊本版C S)等の機会に、学校が育てたい資質・能力について取り上げ、保護者や地域の方々とも目指す子供の姿を共有しています。

特に、地域行事である「小川初市」への取組では、各学年が工夫を凝らして参加し、地域の活性化につながっています。

また、生活科及び総合的な学習の時間等に子供たちが地域の方々に学んだり、活動内容の計画を立てたりしながら、ふるさとを再発見する活動を通して、「問いをもち、自ら学ぶ力」「自己をみつめ高める力」「自他を大切にする力」「自分の思いを伝える力」の育成につながっています。

【地域行事「小川初市」での児童の様子】

第2章 【目指す子供の姿を五者で共有】実践例

重点的に育成を目指す資質・能力の育ちを支えるツール「室っ子ぐんぐんルーブリック」のアップデートを見据えて、五者が一堂に会し、目指す姿を共有する取組

～ 大津町立室小学校～

重点的に育成を目指す資質・能力について、学校からの一方向の発信ではなく、児童を中心に据えて相互に意見交換し、「自分ごと」としながら共有する取組を行っている。



【五者によるグループワークの様子】

地域の方から学校や子供たちへの思いや期待について語っていただいた後、県立教育センター指導主事のファシリテートにより、児童、家庭、地域、行政、学校の五者によるグループワークを行いました。学校の良さや課題、これから取り組めること等、活発な意見交換ができました。五者が互いに顔見知りになる温かい空気の中で、皆でつながりながらもっと素晴らしい室小を創り上げていこうという思いを共有しています。

※「室っ子ぐんぐんルーブリック」については、R2事例集（第2章）で紹介。

第2章

【目指す子供の姿を五者で共有】実践例

地域とともにある学校づくりを推進するための、五者連携によるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的な取組

～玉名市立玉陵小学校・玉陵中学校～

小中学校共通の学校教育目標「故郷を愛し、未来を切り拓く力を備えた児童生徒の育成」の実現を目指し、児童生徒・教職員・保護者・地域住民とともに学校や地域を美しくする地域貢献の取組を行っている。



【小中合同で花植えをしている様子】

毎月1回、環境スクールボランティアを実施し、学校内外の環境整備活動を行っています。更に、小中合同で『おもてなしフラワープロジェクト』を立ち上げ、子供たちが育てた花を駅や総合病院に届け、子供たちと地域住民で世話をしています。

学校運営協議会や子供たちと地域住民との交流会等では、活動の振り返りを大切にしています。その中で、地域の祭りやボランティア活動へ参加する人数が年々増加し、「してもら」だけでなく、地域に貢献しようとする子供たちの姿勢が見られるようになったと評価をいただいています。

また、日常的な取組として、朝の活動後に、地域の方々と子供たちで活動の振り返りを行い、更なる充実につなげています。

第2章

【目指す子供の姿を五者で共有】実践例

コミュニティ・スクールの日（町が設定）に、学校運営協議会が中心となって実施する小中合同防災教室についての取組

～氷川町立宮原小学校・氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校～

氷川中学校区拡大学校運営協議会（CS）主催の小中合同防災教室を各地区公民館で開催し、児童生徒、CS委員、小中PTA地区委員、区長、民生委員・児童委員、主任児童委員、消防団、教職員が一堂に会し、各地区の危険箇所や地域の状況に応じた内容を関係者で話し合い、シェイクアウト訓練等の実践を行っている。



【小中合同防災教室の様子】

氷川中学校区では、五者が連携し、防災・減災に向けて主体的に判断し、協働的に行動する子供の育成に取り組んでいます。学校の教育計画との関連を図り、毎年改善しながら取り組んでいます。昨年度から各地区で分散して開催し、地域の状況に応じた学習内容を決定し実践しました。CS委員が進行役となり、PTA地区委員、消防団員、教職員などが、各地区の関係者で話し合った活動を分担して行いました。役場からは町で備蓄している防災食を提供してもらい、家に持ち帰った後、家庭での話題にしました。活動のまとめでは、CS委員や区長等による話を聞いて考えたことで、地域で防災・減災を考える機会となりました。

第2章

【目指す子供の姿を五者で共有】実践例

育てたい資質・能力を教員と生徒で焦点化・共有化した取組 ～阿蘇市立阿蘇中学校～

「阿蘇中学校グランドデザイン」で示している教育ビジョン「夢をもち、仲間とともに、高め合う」に関連した「育てたい5つの資質・能力」の中から、教員と生徒での議論を通して3つ（主体性、協働性、創造性）に焦点化し、目指す姿として共有化を図っている。



【教員と生徒で協議し、焦点化した3つの資質・能力】

2年生国語「話すこと・聞くこと」の学習：話し合う
(2)組(2)番 名前()

単元の目標
話し合いで問題を検討しよう～来年度の委員会活動について合意形成を目指し話し合う～

本単元を通して意識する「阿蘇中が目指す資質・能力」

- 主体性・・・自分の考えを持つ、自分の考えを伝える など
- 協働性・・・話し合いに積極的に参加する、みんなで知恵を合わせようとする など
- 創造性・・・様々な視点から考える、新たな考えをうみだす など

自分も相手も満足できる

時間	阿蘇中が目指す資質・能力の視点			目標／学んだことや振り返り
	主体性	協働性	創造性	
1時	この時間で高まったか、発揮されたか (4 3 2 1)で記入しよう ↓			めあて：ゲームを通し、自分の話し合い方を見つめよう。 ※振り返りは別紙
2時	3	4	3	めあて：結論を出す話し合いのポイントを探ろう。 私は、今まで相づちやうなずきなどの反応をしていたが、 めあては、これからは反応をしようと思いました。
理由	自分の考えを言ったら、 めあてでよかった。めあて。			

【国語の授業における振り返りの観点】



【教員と生徒会との議論】

グランドデザインで示した5つの資質・能力の中から、教員と生徒（生徒会）で議論を重ね、3つの資質・能力に焦点化し、目指す姿を具体的に設定しました。

各専門委員会（生徒会）が、これらの資質・能力を意識した取組の提案を行い、各行事や授業における振り返りの観点として設定しています。

例えば、生活・美化委員会の「服装規定の見直し」、学習委員会の「学習道具管理」等の取組についても教員と生徒会が協働しながら進め、資質・能力の育成に向けた生徒の主体性や意欲を高めることに効果が見られています。

第2章 【目指す子供の姿を五者で共有】実践例

「すべては次代を担う子どもたちのために」という教育立町の理念のもと、五者が連携・協働する取組

～芦北町教育委員会～

子供たちのより良い成長に向けて、学校現場（子供と教師）だけでなく、家庭、地域、行政を含めた五者が連携・協働できる取組を行っている。

芦北町 小中連携における 目指す子ども像の系統表

(令和3年5月26日 芦北町教育委員会)

子どもたちのより良い成長に向けて、小中学校9年間の見通しをもち町全体で支えていけるよう、この表が作成されました。

芦北町は「すべては次代を担う子どもたちのために」という教育立町の理念のもと、行政として学校現場に寄り添い、全面的に支援していきます。

関係5課の取組

教育課…

ICT等教育環境のさらなる整備を行うとともに、学校における働き方改革を推進します。

スポーツ・文化振興課…

心身ともに健康な子どもを育成するため、スポーツ・文化活動の充実を図り、子どもの健全育成を目指します。

コミュニティセンター課…

家庭教育支援員による相談対応、「親の学び」講座の開催や学校・地域が連携した教育活動を推進します。本に興味をもち、読書に親しむ子どもたちを育てるため、読書活動の普及及び推進を図ります。

福祉課…

子育て支援体制及び相談体制の充実をさらに図り、子どもの健やかな育ちを支援します。

健康増進課…

子どもたちの望ましい生活の定着や、将来の生活習慣病予防と様々な病気の予防のための知識の普及啓発に取り組めます。

発達段階	連携内容 目指す子ども像	前期・基礎期				中期・定着期				後期・発展期		
		低学年		小学校 中学年		高学年		中学校				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年		
学力の向上を目指した連携 「楽しく進んで学ぶ」子ども	授業	授業者や友達の話をしっかり聞いて、学習に取り組む。		相手の話をしっかり聞き、自分の考えを伝えながら、学習に取り組む。		授業者や学習リーダーの指示をしっかり聞き、お互いに協力しながら、見通しをもって学習に取り組む。		授業者や学習リーダーの指示をしっかり聞き、お互いに協力しながら、自分の考えをもって学習に取り組む。				
	家庭学習	与えられた課題(音読・漢字・計算・日記等)に取り組む。		与えられた課題(音読・漢字・計算・日記等)に取り組むとともに、 α の学習ができる。		与えられた課題(ワーク等)に取り組むとともに、今の自分に必要な学習ができる。		与えられた課題(ワーク等)に取り組むとともに、今の自分に必要な学習ができる。				
より良い生活を目指した連携 「けじめをもってくらす」子ども	読書等	身近な本などに触れる機会をたくさん持つ。		進んで読書に取り組む。新聞等の記事にも触れる。		読書に親しみ、「読書が好き」と答える。新聞等の記事を読む。		質の高い読書を行い、自分の読書をもつ。新聞等の記事を読み、自分の考えをもつ。				
	行動	やっていたいこと、やってはいけないことを理解し、判断する。		やっていたいこと、やってはいけないことを正しく判断し、行動する。		やっていたいこと、やってはいけないことを正しく判断し行動するとともに、まわりに声をかける。		やっていたいこと、やってはいけないことを正しく判断し行動するとともに、集団の方向へ導くよう努力する。				
健康教育推進を目指した連携 「健康を意識してくらす」子ども	TV等の視聴	夜8時以降はTV、ゲーム、スマホ等視聴しない。(90分以内)		夜8時半以降はTV、ゲーム、スマホ等視聴しない。(90分以内)		夜9時以降はTV、ゲーム、スマホ等視聴しない。(60分以内)		夜10時以降はTV、ゲーム、スマホ等視聴しない。(60分以内)				
	SNS関係	正しい電話の仕方を知る。インターネットに関して、保護者の許可を得て利用する。		インターネットに関して、保護者の管理のもと正しくけじめのある利用の仕方ができる。		インターネットやSNS等に関して、その危険性を知り、保護者の管理のもと正しくけじめのある利用の仕方ができる。		インターネットやSNS等に関して、その危険性を知り、保護者の管理のもと正しくけじめのある利用の仕方ができる。				
豊かな心の育成を目指した連携 「自分や友達を大切にする」子ども	食育	作っていたい方に感謝して食べる。		好き嫌いをせず、しっかり食べる。		好き嫌いをせず、3食しっかり食べる。休みの日には、食事の準備や後片付けのお手伝いができる。		食事の大切さを理解し、好き嫌いをせず、3食しっかり食べる。休みの日には、食事の準備や後片付けのお手伝いのできたり、自分で食事を作ったりできる。				
	体づくり	安全に気をつけ、運動遊びを楽しむ。		安全面に気を配り、運動遊びに進んで取り組む。		安全面に十分配慮を行い、体づくりを意識して、進んで運動に取り組む。		安全面に十分配慮を行い、体づくりを意識して、進んで運動に取り組む。				
豊かな心の育成を目指した連携 「自分や友達を大切にする」子ども	病気の予防	うがい、手洗い、歯みがきの習慣化を目指す。		うがい、手洗い、歯みがきの大切さを意識し、習慣化している。		うがい、手洗い、歯みがきの大切さを意識し、実行するとともに、状況によってはマスクを着用するなど、病気を予防しようとしている。		自分だけでなく、相手のこととまわりのこと、全体のことを考え、病気の予防のための適切な行動ができる。				
	豊かな心(人権)	【知能的側面】 ・お互いを認め合うことの大切さが分かる。 【価値的・態度的側面】 ・まわりの友達を大切にしようとする。 【技術的側面】 ・指でも仲良くすることが出来る。		【知能的側面】 ・お互いを認め合い、支え合うことの大切さが分かる。 【価値的・態度的側面】 ・自分や友達の良さに気づき、友達を大切にしようとする。 【技術的側面】 ・互いの違いを認め、誰とでも関わる事が出来る。		【知能的側面】 ・お互いを認め合い、誰とでも関わりあうことの大切さが分かる。 【価値的・態度的側面】 ・自分や他の人をかけがえのない存在ととらえ、大切にしようとする。 【技術的側面】 ・互いの違いを認め、誰とでも関わりあう事が出来る。		【知能的側面】 ・さまざまな人権問題の根拠に共通する差別の構造について理解するとともに、人権を尊重して活動することの大切さを理解している。 【価値的・態度的側面】 ・自分や他の人をかけがえのない存在としてとらえ、人権を守るために協働して活動しようとする。 【技術的側面】 ・話し合い、協力し合う中で、それぞれの意見の良さを生かした解決方法を考えることができる。				
芦北町教育連携推進協議会 「自分の良さを生かす」子ども	特別支援教育に関する連携	支援が必要な子どもたちが、明るく生き生きと学習活動に取り組む。		支援が必要な子どもたちが、自分の良さを生かし、明るく生き生きと学習活動に取り組む。		支援が必要な子どもたちが、自分の良さを生かし、明るく生き生きと学習活動に取り組む。		支援が必要な子どもたちが、自分の良さを生かし、将来の目標をもって、明るく生き生きと学習に取り組む。				
	連携カリキュラムの実践	相手の呼びかけにはしっかり答えたり、自分から誰とでも気軽にあいさつできたりする力を身につける。 (各段階の目指す姿は芦北町幼保小中連携カリキュラムに記載)		相手の呼びかけにはしっかり答えたり、自分から誰とでも気軽にあいさつできたりする力を身につける。 (各段階の目指す姿は芦北町幼保小中連携カリキュラムに記載)		相手の呼びかけにはしっかり答えたり、自分から誰とでも気軽にあいさつできたりする力を身につける。 (各段階の目指す姿は芦北町幼保小中連携カリキュラムに記載)		相手の呼びかけにはしっかり答えたり、自分から誰とでも気軽にあいさつできたりする力を身につける。 (各段階の目指す姿は芦北町幼保小中連携カリキュラムに記載)				
「あいさつ・話の聞き方・態度」に関する連携	話の聞き方	保護者の声かけのもと、決まった時刻に寝て、決まった時刻に起きることが出来る。 (就寝時刻:低学年…午後9時まで、中学年…午後9時半まで)		保護者の声かけのもと、決まった時刻に寝て、決まった時刻に起きることが出来る。 (就寝時刻:低学年…午後9時まで、中学年…午後9時半まで)		保護者の声かけのもと、決まった時刻に寝て、決まった時刻に起きることが出来る。 (就寝時刻:低学年…午後9時まで、中学年…午後9時半まで)		保護者の声かけのもと、決まった時刻に寝て、決まった時刻に起きることが出来る。 (就寝時刻:低学年…午後9時まで、中学年…午後9時半まで)				
	睡眠の目安	保護者の声かけのもと、決まった時刻に寝て、決まった時刻に起きることが出来る。 (就寝時刻:低学年…午後9時まで、中学年…午後9時半まで)		保護者の声かけのもと、決まった時刻に寝て、決まった時刻に起きることが出来る。 (就寝時刻:低学年…午後9時まで、中学年…午後9時半まで)		保護者の声かけのもと、決まった時刻に寝て、決まった時刻に起きることが出来る。 (就寝時刻:低学年…午後9時まで、中学年…午後9時半まで)		保護者の声かけのもと、決まった時刻に寝て、決まった時刻に起きることが出来る。 (就寝時刻:低学年…午後9時まで、中学年…午後9時半まで)				

子どもたちのより良い成長に向けて、学校現場（子どもと教師）だけでなく、家庭、地域、行政を含めた五者が連携・協働して一体的に取り組んでいきましょう。

※「熊本の学び推進プラン」（令和元年12月熊本県教育委員会）では、目指す子どもの姿を五者で共有することの大切さが示されています。

※この「目指す子ども像の系統表」は、五者各方面の意見を取り入れながら適宜変更を加え、より良いものにしていきます。

教育委員会が小中9年間を見通した目指す子どもの姿を整理し、「小中連携における目指す子ども像の系統表」として全ての学校で保護者に配付しています。

また、町広報誌に掲載し、子供の成長を町全体で支えられるように啓発を図っています。

この「小中連携における目指す子ども像の系統表」をもとに、各中学校区では小中連携の取組が充実してきています。小中学校で同じ目標のもと学力向上や生活習慣の確立に取り組むなど、9年間を見通した実践につながっています。

さらに、町役場関係5課（教育課、スポーツ・文化振興課、コミュニティセンター課、福祉課、健康増進課）とも連携し、課題の共有を行っています。